



役場の若手職員研修の途中経過を報告します。研修の目的は、長柄町の将来像を考える過程で、職員自らが課題意識を持ち、担当課を超えて課題解決に取り組める人材を育成することです。

研修では、観光、コンパクトシティ、産業振興のテーマごとに職員をグループに分け、町の現状について分析しています。交流施設、公共交通、スマート IC 活用、道の駅などについて考えるなかで、観光需要の取込み、子育て支援、情報発信など、課題となるポイントが見えてきました。

7月には、現状と理想のギャップ（＝課題）から、課題の解決策について考えます。議論や発表の仕方についても徐々にスキルが身についてきていると実感しています。